

平成 27 年度日本カーシェアリング協会事業報告書

<テーマ>

本格的なモデル化

平成 27 年度は、本格的なモデル化を行うために、産官学民共同で協議を行い、また専門家や国土交通省との協議の末に持続可能な型作りを行いました。結果、持続可能な一つの型が出来上がり、他地区でコミュニティ・カーシェアリングを実施するための「実践ガイドブック」も完成しました。関東・東北豪雨での災害緊急支援の一つのスタイルや電気自動車（EV）を活用した新しい防災体制も生まれ、私たちの取り組みがモデルとして大きく前進した 1 年でした。

活用車両台数：87 台

新規登録車両台数：25 台（前年度比：+2）

活用車両台数増減：12 台増 ※平成 27 年 4 月 1 日 75 台→平成 28 年 3 月 31 日 87 台

廃車車両 15 台、提供を受けた台数 25 台、再登録した車両 2 台

会員：282 名（一般的に利用いただいている会員 140 名、その他 142 名）（前年度比：+2）

1. コミュニティ・カーシェアリング事業

仮設住宅でアンケート調査を行い、既存のグループの活性化に取り組みました。また、石巻エコ EV カーシェアリング事業で整理されたノウハウを仮設住宅での取り組みにも転用し、より安定した運営ができるようなサポートを心がけました。

巡回件数：271 件

2. 石巻エコ EV カーシェアリング事業

6 月に吉野町復興公営住宅で太陽光発電で EV を充電するシステムを導入し、以後カーシェアリングの導入を丁寧に進めていきながら、利用者のインタビュー及び利用状況を産官学民で結成した検討委員会で報告し、毎月協議を重ねていきました。結果、持続可能な形が生まれ、「移動・コミュニティ形成・防災」における効果が確認でき、他地区での実践に有効に使用できる「実践ガイドブック」を制作することができました。石巻市内において他地区の復興公営住宅での EV カーシェア・防災ネットワークの構築に向けて取り組みを続けていくことになりました。

3. レンタカー事業

約倍近い貸し出し件数を実現することができました。26 年度スタートしたサポートレンタカーも本格的に取り組みがなされました。

<貸し出し件数>

全体：333 件

サポートレンタカー：15 件

4. 緊急支援事業

9月に発災した関東・東北豪雨で宮城県古川地区、常総地区に1ヵ月無料のレンタカー・カーシェアリングを通して急場をしのぐための緊急支援事業を行いました。

関東・東北豪雨貸し出し件数：19件

下記内容の取り組みを行いました。

4月 国際交通安全学会賞、学生整備プロジェクト

5月 石巻エコEVカーシェア検討委員会全体会議

6月 エコEVカーシェアリング事業セレモニー

7月 てんぷらカー（ウィザード）貸し出しスタート、

8月 宮城運輸支局訪問

9月 関東・東北豪雨支援スタート、石巻エコEVカーシェア検討委員会全体会議

10月 市長報告、学生整備プロジェクト実施

11月 石巻市総合防災訓練でEVを活用した防災訓練を実施

12月 半島沿岸部でのカーシェアリングの模索スタート

1月 吉野町カーシェア会発足、石巻エコEVカーシェア検討委員会全体会議

2月 石巻エコEV検討委員会全体会議

3月 防災シンポジウム出店、実践ガイドブック「よし、やってみよう！」完成、コムス導入（協力：住友三井オートサービス）、市長報告、ウィーン工科大学柴山研究員訪問

平成28年6月28日
一般社団法人日本カーシェアリング協会
代表理事 吉澤武彦